

4. 肝がん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん ※別紙4に入力した内容が反映されています。 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数				治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	穿刺療法		TACE/TAE	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容			
					RFA	PEIT		体外照射	定位放射線療法			治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1 消化器内科	21	20	状況 実績	× あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	ゆるく「肝臓系」、「胆膵系」、「消化管系」に分かれ、きわめて多数の原発性肝癌処置と24時間対応緊急内視鏡処置に代表される内視鏡治療、および胆道・膵臓処置を業務の中核とします。地域医療の中核をめざし、病診連携活動・臨床研究活動を一層おしすすめる体制を作っております 消化器癌の診断・手術適応に関しては、消化器内科・放射線科ともにカンファレンスを行い、食道癌や胃癌、大腸癌の早期癌に対しては、消化器内科医が内視鏡的粘膜切除術も積極的に進めています。より進んだ癌に対しては外科で手術・放射線治療・化学療法を含めた集学的治療を行っております。	ア http://www.osaka-med.jrc.or.jp/gairai/s05.html イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2 消化管外科・乳腺外科	21	3	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	消化器癌の診断・手術適応に関しては、消化器内科・放射線科ともにカンファレンスを行い、食道癌や胃癌、大腸癌の早期癌に対しては、消化器内科医が内視鏡的粘膜切除術も積極的に進めています。より進んだ癌に対しては外科で手術・放射線治療・化学療法を含めた集学的治療を行っております。	ア http://www.osaka-med.jrc.or.jp/gairai/s08.html イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3 放射線治療科	2	2	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	× なし	化学療法は単独で癌を根治することが難しく、補助療法として用いられるためこのような呼び方がされます。当科では肺癌の定位照射やIMRT(強度変調放射線療法)などの高精度放射線療法を用いた癌根治療法を積極的に進めています。	ア http://www.osaka-med.jrc.or.jp/gairai/s31.html イ http://	掲載なし	掲載あり	掲載あり
4			状況 実績									ア http:// イ http://			
5			状況 実績									ア http:// イ http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例: 肝がん  
 昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日  
 肝がん、転移性肝がん、肝内胆管癌